

食べ物

種類とライフステージに応じた適切な食餌を与えましょう

ペットは人とは違った生き物ですから、必要な栄養も当然違います。飼い主がペットの種類に応じて、必要な栄養素、栄養バランスのとれた適切な食餌を適切な回数与えなくてはなりません。

人の食べ物

ペットを溺愛するあまり、人と同一視して人の食べ物を与えていませんか？体の機能が異なるペットに人の食べ物を与えていると、栄養バランスが崩れて健康を損ねてしまいます。人の食べ物はペットには絶対与えてはいけません。また、普通に人が食べている食材の中には、ペットの種類によっては中毒を起こすものがあるので、注意が必要です。

カロリー・塩分

ペットは、お菓子などの甘いものや脂分の多いもの、塩味の強いものを好む傾向があります。これは、ペットの先祖がまだ野生の状態だったとき、カロリーの高い食べ物（糖分や脂分）や塩分は自然の中にはあまりないため、それらを多く含む食べ物を見つけたときには真っ先に食べるように進化したためです。ペット用に販売されているおやつも、嗜好性を高くするために、高カロリー、高塩分になっているものがあります。これらのものをペットが好むからといって、多く食べさせていると、肥満や糖尿病や歯周病など、さまざまな病気の元になり、結局はペットを苦しめることになってしまいます。



栄養バランス

人は自分でダイエットしたり、栄養バランスを気にしたりできます。しかし、ペットは与えられたものを本能に従って食べるだけです。食の安全と健康は飼い主が考えなければなりません。同じペットでも幼い時と年をとってからでは必要な栄養バランスや食餌回数が変わってきます。小鳥や小動物など体の小さいペットは、1日食餌をとらないだけで命にかかわることもあります。肥満や痩せすぎ、栄養バランスの崩れなど、食べ物による病気はすべて飼い主の責任です。



総合栄養食

一般的なペットでは、ライフステージに合った総合栄養食が市販されていて、体重ごとの給与量や給与回数が明記されています。定められた用法を守り、賞味期限内に使用するようにしましょう。

水

水は全てのペットにとって、生きていくために必要不可欠です。いつでも新鮮な水が飲めるようにしておかなくてはなりません。ウサギに水をやってはいけないというのは誤りです。

